

令和3年度

第14回邑南町議会意見交換会

報告書

(令和3年12月7日)

邑南町議会

邑南町議会では、平成19年に議会基本条例を制定しました。その第4条第3項において、「議会は、町民と意見交換の場を多様に設けなければならない。」と規定しています。

これにもとづき、平成20年度から毎年、町内各公民館で議会と町民との意見交換会を開催しています。今年度の開催状況と、近年の状況は下表のとおりです。

14回目を迎える今回の議会意見交換会は、全国での新型コロナウイルス感染症流行により開催が危ぶまれましたが、感染防止対策を図り、無事みなさんから貴重なご意見をうかがうことができました。以前は、質問や要望中心でありましたが、最近では、町の将来、身近な地域の問題などについてのご意見が多く、意見交換会が町民のみなさんとの話し合う場が変わってきています。

私たち議員も、できる限り参加したみなさんと「町の将来」「身近な地域の問題」などについて共に考え、話し合っていきたいと思っております。

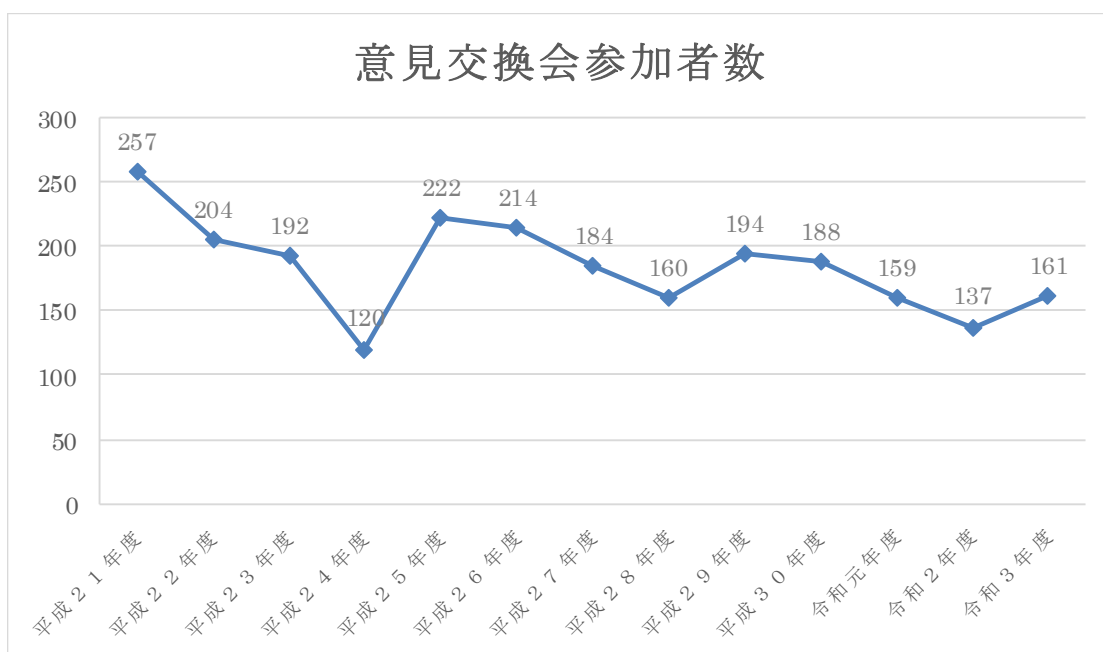
いただいたご意見は、委員会での協議、担当課への調査及び一般質問など議会、議員の活動に活かしていきます。ご参加をいただいたみなさん、ありがとうございました。

● 開催状況

第14回意見交換会出席者数

開催日	開催場所	出席者数
10月13日(水)	出羽公民館	16人
	布施公民館	14人
	日和公民館	10人
	井原公民館	10人
10月15日(金)	市木公民館	10人
	阿須那公民館	15人
	日貴公民館	28人
	矢上公民館	18人
10月21日(木)	口羽公民館	13人
	高原公民館	9人
	田所公民館	12人
	中野公民館	6人

● 近年の状況（意見交換会参加者数）



● 会場別目次

阿須那公民館	…	1 ページ
□羽公民館	……	1 ページ
日貴公民館	……	2 ページ
中野公民館	……	2 ページ
井原公民館	……	3 ページ
出羽公民館	……	4 ページ
布施公民館	……	5 ページ
日和公民館	……	5 ページ
田所公民館	……	6 ページ
高原公民館	……	6 ページ
市木公民館	……	7 ページ
矢上公民館	……	7 ページ

阿須那公民館まとめ

- 町の施策において、課と課の連携や職員間の意思の疎通は図られているか。
- 町の顧問制度の必要性和顧問への報酬は不要ではないか。
- ゼロカーボン施策などの環境対策の取り組みは。
- 町内キャンプ場の運営状況は。
- 学校部活動のあり方は、日本一の子育て村として適当であるか。
- 浜田作木線高原～雪田工区の進捗状況と河川環境の保全について。
- 行財政改革における財務状況の見通しと職員数の適正化は。
- 令和2年度の決算における特徴は。
- 人口定住対策における住宅の必要性について。
- 雪田～和田線出口（高原側）交差点の見通しが悪い。

口羽公民館まとめ

- 集落で人が集まると人口減少の話になる。
 - ・どの年代であろうともこの地域で生活できる仕事がない
 - ・Iターンをすすめるのは難しい。Uターンをもっとすすめるべき
 - ・女性にとって魅力や住みやすい環境を整える必要がある
 - ・教員の地元出身者が少なくなっている
 - ・高校から地元を離れると帰ってくるのが難しい
 - ・ずっと住みたいと思う環境整備が必要
- なんで地元に戻らないのか、帰って来られないのか。その年代の人や当事者の意見を聞くことが必要ではないか。
- 不在地主の空家や空地の管理の問題。セイタカアワダチソウなどの雑草が繁茂して景観や健康への被害が心配。
- 展望台などの観光施設と進入道などの周辺の草刈りなどの維持はだれが責任をもって行うのか。
- 行政の仕事で、コンサルタントへの委託など外注が増えすぎている。計画づくりは本来「まちづくり基本条例」によればの本来町民の参加と協働により作るべきであるが、今はコンサルタントが大部分をつくり形式的に町民の意見を聞いているだけである。もっと自分たちで計画を作ることはできないのか。
- 公共施設の女性用トイレ（例えば役場駐車場、公民館）が和式であったりして使いづらい。また、手洗い場など故障をしている施設もある。確認して改良してほしい。

- コロナ禍で人が集まるのが難しくなっている。どのようになったら今までと同じようにしてよいかかわからない。例えば、葬式は家族葬しかできないのか。
- 議会だよりは編集に大変な労力がかかっているとのおもう。もう少し簡素にしても良いのでは。
- 広報無線のお知らせや集落での配布物がたくさんある。もう少し整理できないか。

日貫公民館まとめ

- 町道維持が集落で限界となってきた。高齢化で草刈等大変であり、人的支援や業者委託をお願いしたい。
- 今年、ハンザケ淵の滝が話題となったが、日貫には他にも色々な滝がある。それに日貫の名所や施設を絡めた発信や交流を盛んにしていきたい（たたら・紙すき・山崎邸等）。
- 日貫は高齢者の割合が高く、1人暮らしの方も多い。通信機器を活用した安否確認等ができないか。
- 毎月の常会では膨大な量の文書が配られるが、目を通さずに廃棄する人が多いと聞く。通信機器を持つ人が多い中、町広報も含めペーパーレスの目標を立てて取り組んでほしい。
- 今年は米価が大きく下落したが、今後の適正な米価格の安定は図ることができるのか。
- 地区別戦略、町内連携が希薄に感じるし、ホームページにも発信が無い。
- 邑智病院は毎年黒字経営というが、医業収益は赤字である。そこを黒字化するよう努力してほしい。大型病院のように受付の呼び出しを番号表示で行う必要は無いと思う。
- 意見交換会のあり方について提案する。子育てやコミュニティー等、分野によって全町を見渡すと差がある。そうしたことを踏まえ、もっと議会としての考え方を住民へ示してほしい。

中野公民館まとめ

- ヤングケアラーの数を把握しているか。
- 邑南町は日本一の子育て村を提唱しており、赤ちゃん誕生の時に「こんにちは赤ちゃん」を放送していたが、中止の理由が十分説明されていない。
- 邑南町における子ども条例制定の状況はどのようになっているか。
- 濁川に雑木が多く生えておりゴミの堆積し、大雨が降ると下流域に流れる。除去する等の考えはないか。
- 町が設置している看板（案内板）には、旧町名の石見町のままとっている物がまだある。JA 中野支所付近の交差点に設置されている道路標識は破損している物も有り危険である。

●いこいの村しまねの運営等について

- ・指定管理者の変更で従来とは業務内容が大きく変わり宴会も出来ないと聞く。改善を求める。
- ・多額の設備投資をしているにも拘わらず利用者も売上も減少しており、投資が活かされていない。
- ・瑞穂ハイランドが営業を再開しても、スキー客を収容出来ないのではないか。

●道の駅瑞穂の建設について

- ・当初の計画より大幅に拡大しているが、現在までの経過説明はされているか。
- ・補助事業ではあるが町の負担も大きく、生産者の高齢化等今後の動向をしっかりと分析して実施すべき。
- ・事業規模の拡大に議会は説明を受けているか、また、大規模にする必要があるのか。
- ・担当課の各地域への説明時には、反対する意見も多数あったようだ。慎重に審議すべきではないか。

●町道の石見プラザから石見中学校につながる交差点の改修事業が中断している。早期完成を望む。

●町道の未舗装箇所の現状はどうか、中野河原城地内にある町道の未舗装箇所はいつ舗装するのか。

●大雨の時に用水路の水が中央自治会館付近であふれ、町中まで水浸しになるので改修してほしい。

●矢上高校に町外から多数就学しているが、逆に地元生徒の就学数が少ないのではないか。

井原公民館まとめ

●町政座談会、行政連絡員会議を年に2回やればよい。行政連絡員と自治会長でほぼ40名近くなる。

本来は住民の声を聞くためにやることだから議会の意見交換会のように各地区でやるべきだ。執行部の怠慢だ。岸田総理、丸山知事を見習うべきだ。

●庁舎の雰囲気は暗い。近隣町村に行けば丁寧に対応してくれる。

●中学校の部活。指導者や交通手段などうまくやりくりしていくべき。矢上高校。女子の確保のために全国に通用する指導者を据えるべき。

●川のヨシ刈りなどの河川美化。財源の確保と手続きの簡素化をしてほしい。地元の負担が大変だ。

●子どもを川で泳がず発想はよい。賛成だが町内の川は水質が心配。広島の良い川まで行く等検討してやっていけばよい。

●議会改革特別委員会は何をやっているのか。目的は

●井原公民館を建て替えてほしい。町ではいろいろな事業に取り組んでいるが、それぞれの優先順位はどうなっているのか。新しく建てた公民館では酒が禁止だと聞くが、全地区統一してほしい。

●10年、20年先に令和の合併などということにならないような町づくりが、本当の持続可能な町づくりだ。それに向けて、

①自治会の再編（人口が減ってくるため。自治会も町の財産だ）

②石見中の改修は瑞穂中、羽須美中も控えているのだからそれぞれ町の中学校のあり方として捉えるべき。

③矢上高校を私立にすべき。例えば農学部がある大学の附属にしてみたら等。中山間地域で最先端の技術や学問が学べると面白い。

●県から限界集落向けの100%補助金の案内をもらったが、担い手あるいは認定農業者でないと受けられないと町に言われた。中山間地の農地は棄てるということか。元気な者が集落を整備するために補助金が全くないのは持続可能とかいいながら矛盾している。

出羽公民館まとめ

●小中学校では、ICT教育でタブレットが配布されているが、指導できる教員が不足しており活用が出来ていない学校がある。

●久喜銀山遺跡について

- ・文部科学大臣より国史跡指定を受けたが、今後來訪者へどのように対応をしていくのか。
- ・町外者のための案内看板の設置が必要だが、どこに設置するのか。
- ・案内所や休憩所、駐車場はどうするのか。大型バスは利用できるのか。

など、議会としても早めの準備をしてほしい。

●選挙時に設置されるポスター用の掲示板の位置について、運転中であっても停車して見られるよう設置場所を検討してほしい。

●マイナンバーカードを行政手続きの証明手段に、利用されていない。普及に対する行政の取り組み強化が求められる。

●町内の小学校の児童数が減少している。10年後には危機的状況になる。町長は、現段階では統廃合は考えていないとの姿勢で議論ができない。議会でも論議してほしい。

●おおなんCATVの接続がつながりにくいので改善できないか。

●中学校の今後の部活動について

・石見中学校の野球部は部員不足で休部している。瑞穂中学校の野球部はぎりぎりの部員数である。また、やりたい部活がないため、放課後にクラブチームに通う生徒が増えている。今後の部活動のあり方を検討する必要がある。

●5月に瑞穂中学校のバス停で、生徒の送迎に行っていた保護者の車と通行人の接触事故があった。安全に送迎をするために送迎用駐車場が必要ではないか。

●矢上高校2年生を担当に教育パートナーをしている。町内外の60名の生徒が、12チームに分かれ1年を通じて地域課題にとりくんでいる。多様な意見があり参考になることも多いので、行政・議会とも交流してみてもどうか。

●鹿の被害で今年の米の収穫量が激減し耕作意欲がなくなる。有害鳥獣対策で町外の駆除事業者の活動が国有林に限られ、民有林の活動は地元猟友会の承諾が必要になるが了解が得られない。

●町内に結婚サポート組織が必要ではないか（人口対策）。

- 米価の下落と生産者の高齢化で耕作ができなくなる。農地における太陽光発電を検討できないか。
- 町歌の放送や町花を増やす活動、町内の名所をもっとPRする活動が必要ではないか。
- 高齢者人口が増加している。福祉施設従事者が増えれば人口増加につながるのではないか。

布施公民館まとめ

- 新聞で消防団の報酬についての記事があったが、邑南町はどのように対応しているか。
- 町財政は黒字か。赤字か。
- 日本一の子育て村は、ここ数年勢い感じられないがどうなっているか。
- 消防団の車両の更新と免許制度の関係は。
- 役場の課の増設、協定の締結に議会はどのように関係しているのか。
- 公共施設の管理計画はなぜ30年なのか。
- 龍岩神社、山野草、赤馬滝など布施には観光施設がある。赤馬滝入口の鉄の橋が老朽化している。施設管理、特に人口構造物の管理は地域だけでは難しい。
- A級グルメのキッチンカーはどこが管理しているのか。
- しごとづくりセンターはどのような仕事をしているか。一般住民には関係がないのか。
- 大型車が通行して町道が傷んできている、直してもらいたい
- 公民館は地域のよりどころである。地域によっては多機能化できないか。
- 農業は高齢化や人が減ることで草刈りや水の管理が大変になっている。

日和公民館まとめ

- 日和の観光資源について。歴史と文化のある所に人が集まる。過疎化・少子化等で担い手も少なくなり公民館等の地域活動も難しくなっている。地域の資源整備と情報発信に予算がつかないか。
- 農業は人手不足、米価の下落、イノシシの被害で大変な状況である。
- 日桜ロードは落石や道路の痛みが激しい。
- 日和トンネルの矢上側の橋の取り付けに段差がある。改修を望む。
- 日和トンネルの日和側の親水公園のところに水が1日2回出ているということだが、炎天下が続くと水が少なくなり心配している。日和と町との約束事を確認してほしい。
- 学校図書司書の全校への配置を継続してほしい。少人数学級のメリットとデメリットは。
- 教職員住宅を有効に活用できないか。
- 議会の人口問題特別委員会の立ち上げの経緯は。

- 自治体新電力会社とはなにか。

田所公民館まとめ

- 除雪作業のオペレーターの育成は急務である。
- ドクターヘリの着陸場所について、瑞穂小学校の校庭は砂ぼこりが舞い上がり迷惑している。他の場所へ整備することを望む。
- 道の駅瑞穂、石見中学校、邑智病院。町の3大事業の必要性、進捗状況、財源等は。
- 2030年の島根国体において邑南町は競技の招致をすると理解している、現状はどうなっているか。
- 学校の部活が令和5年度より地域クラブとなるとの説明を学校から受けた。指導者等に対する町の考えは。
- 元気館や矢上交流センター等の駐車場の白線が消えている。
- 児童クラブの職員の勤務形態や収入面での待遇改善を望む。
- デマンド交通実証実験の考察がされているか。免許返納の決断がしやすいような制度設計を望む。
- 亀谷川の改修について。集中豪雨等で水の被害が多く、農業をあきらめる例が増えている。護岸整備を早く進めてほしい。

高原公民館まとめ

- A級グルメとは何？町民にどのくらい浸透しているのか。町民が享受できるものであってほしい。
- 米価が下がっているが、邑南町の米を守るために、国に意見書を出してほしい。
- 核兵器禁止条約 反対意見が出なかったのが残念。
- 道の駅瑞穂の再整備は、先行きの見通しはたっているのか。
- 瑞穂ハイランドの現状はどうか。
- 漁師のように一獲千金の夢のあるようなことがないと人は来ない。
- 石見中学は改修と思っていたら新築だった。先を考えてもこの石見中に統合を見込んでいると思われるでも仕方がないが、どさくさ紛れに統廃合となることは避けてほしい。
- 特定地域づくり事業協同組合の進捗状況は。

市木公民館まとめ

- 浜田国府線は、浜田作木線のように特別委員会はなかったのか。改良の進捗状況はどうか。合併の条件として浜田国府線をよくするのが条件だったはず。今のままだと雪で通行止めになれば、ほぼ陸の孤島だ。早期改良を望む。
- 委員会、議会の傍聴をしたが、場が固い。暗い。もっと意見を言って、議論する場であるべき。
- 今年度から空き家を解体してまた新しく建てるのに100万の補助金ができる制度があるが、半年しか経ってないのにもう予算がない。いい制度だからもっと予算枠がほしい。
- 子ども条例はどうなっているか。
- 町政座談会は人数も決まっているし、各地区に出向かないのはなぜか。
- 瑞穂ハイランドの今の状況はどうなっているのか。
- 石見中を建て替えて、ゆくゆくは石見中に町内の中学を統合するつもりでは。ハードよりソフト面でもっと人に優しい内容の部分を重視してほしい。
- 道の駅瑞穂の再整備より空き家対策などのほうが大切だと思うが、そっちにはお金がまわせないのか。
- 道の駅瑞穂の再整備について、今後農産物の生産者が減っていくのは明らかだが、農業振興と並行してやっていくのが大事じゃないか。

矢上公民館まとめ

- 企業・大学等との連携協定の目的とメリットは。議会の関わり方は。町民にも内容が見えるような工夫が欲しい。
- 顧問が多く任命されているが、議会の議決はあるのか。職員の中の有資格者を活用できないのか。
- 自治会に関係する施策について、決定する前に自治会に対する意見聴取が欲しい。自治会、班（集落）毎に組織的な差異があることを考慮して欲しい。
- 地区別戦略に若者と役場職員の参加を。
- いわみ西保育所前の交差点は見通しが悪い。改良を要望する。
- 河川堤防に穴が開いている場所があるが改修がされない。河川に貯まった土砂の撤去に上流と下流とでの対応に違いがあるのはなぜか。
- ヌートリアがすみついている。農作物等への被害が心配だ。
- 南農道周辺で真砂土の採掘現場が多い。町は許認可に関与しているのか。トラックの通行で集落内の路面の痛みが激しい。空き缶等の不法投棄もある。町は認識しているのか。
- イノシシの対策を。捕獲では追い付かない。長期的な対策を。
- 電動カーなどだれもが安心して利用できるように歩道の整備と掃除等の管理（例えば邑智病院周辺）してほしい。

- 保育所の先生は、常にマスクを着用して保育されているのか。表情が見えないと乳幼児の発達への影響が心配である。
- 可燃ごみ袋の値段が高い。なぜか。
- もっとごみ減量など SDG s を意識して施策を行うべきである。
- 邑智病院、石見中学校、道の駅瑞穂の大型事業を同時に進めることは可能なのか。
- 邑智病院の改築計画に利用者の声を反映してほしい。
- 人件費比率を抑えるなど財政規律の確立を。
- 霧の湯は駐車場が狭く利用しづらい。
- 人口が減少している。UI ターンを増やすための考えは。
- 矢上高校寮生の支援をしている。他県からきている高校生も多い。もっと地域全体で支援や交流ができるとうい。